

第4は、「石見銀山をはじめとする歴史文化を生かした創造的な人づくり」であります。

(教育委員会制度の改正)

新年度から「教育委員会制度」が大きく変わります。教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化を図ることなどが目的とされております。

これに伴い、平成27年4月1日に新教育長を任命し、併せて教育委員を増員するとともに、私と教育委員会が協議調整する場としての「総合教育会議」を設置したいと考えております。

こうした対応により、新年度には、「大田市教育ビジョン」を策定し、教育をいっそう進展させてまいります。

(学校教育の推進)

児童・生徒の学力向上に向けた取り組みとしましては、昨年10月から中学3年生を対象に始めた、「土曜日課外授業」などを引き続き推進してまいります。

また、新たに市内小中学校の普通教室全てを対象として、プロジェクターなどのICT機器の整備を年次的に行うこととし、効果的に活用してまいります。

児童生徒や学校を取り巻く諸課題に対しましては、引き続き特別支援教育や生徒指導の充実、不登校児童生徒への支援など各種の支援事業を実施してまいります。また、魅力的な学校図書館づくりに取り組むとともに、授業における学校図書館の活用を充実してまいります。

学校統合につきましては、「大田市学校再編実施計画」に基づき、保護者や地域の皆様の合意をいただきながら、取り組んでまいります。

教育環境の整備・充実につきましては、引き続き学校施設の耐震化並びに非構造部材の安全対策に取り組んでまいります。

（生涯学習社会の実現）

生涯を通じた学びの場である7つの公民館においては、地域課題の解決に向けた人材育成を、まちづくりセンターとの連携により進めてまいります。

また、学校・家庭・地域が一体となり、地域ボランティアなどを中心とする学校支援活動をいっそう充実させるとともに、ふるさとへの誇りや愛着を持つ子どもたちの育成に努めてまいります。併せて、「放課後子ども総合プラン」を推進し、放課後の安全・安心な居場所確保などの充実に取り組んでまいります。

（石見銀山遺跡の保全）

石見銀山遺跡の整備につきましては、遺跡の魅力創出や世界遺産地域内の集落の維持活性化などを目的として、平成27年度からおおむね10か年の事業期間を設けて第2期整備事業に着手することとしており、新年度におきましては仙ノ山本谷見学道の整備などを実施いたします。

また、平成25年度から島根県と大田市が連携して取り組んでおります落石対策事業につきましては、新年度において大森町の町並み交流センター付近など5か所で事業を実施いたします。

（芸術文化の振興）

芸術文化の振興についてであります。これまでも石見の三聖、本因坊道策の生誕地として進めている「囲碁によるまちづくり」を市内の学校での教育活動にも広げてまいります。

また、本市ゆかりの偉大な作詞家であります故岩谷時子氏の三回忌を契機として、その功績を顕彰するなど、文化活動の拠点である大田市民会館における市民参加の文化活動を進めるとともに、大田市文化協会等の活動を支援することによって魅力ある文化のまちづくりへつなげてまいります。

(スポーツの振興)

市民のスポーツへの関心を高め、スポーツ人口の増加を図るため、「スポーツ推進計画」に基づき、選手育成力や組織の活性化を目的とした「スポーツ指導者育成事業」の実施や、スポーツ競技力向上を目指した競技団体への重点的な支援制度を構築するなど、スポーツ振興に向けた取り組みを推進してまいります。

(山村留学の推進)

山村留学事業につきましては、引き続き「生きる力」を育む教育・学習の場の提供や交流人口の拡大、地域活性化に向けて取り組んでまいります。また、地元・育てる会・関係機関等とともに、より望ましいセンターの運営に努めてまいります。